

～臨床情報・検体の研究利用に関するお知らせ～

【研究課題名 血液透析が周術期血液粘弾性試験に及ぼす影響の解析:非血液透析手術患者との後方視的比較】

研究機関名 東邦大学医療センター大橋病院

研究責任者 麻酔科 職位・氏名 教授・小竹良文

【研究の目的】

血液透析で治療をしながら手術を受けた患者さんでは腎機能が正常な患者さんと比較して術後出血量が増加することが知られています。東邦大学医療センター大橋病院麻酔科では、血液透析で治療をしながら手術を受けた患者さんでなぜ術後出血量が増加するか、を明らかにすることを目的として本研究を計画しました。

この研究で得られる成果は、血液透析で治療されている患者さんが手術を受ける際の出血量を減らすことにつながります。

【研究対象および方法】

この研究は、東邦大学医療センター大橋病院倫理委員会の承認を得て実施するものです。

対象者:2014年10月～2020年6月までに東邦大学医療センター大橋病院

において全身麻酔で手術をうけられた方のうち、手術前から血液透析をうけられており、かつ手術中に血液凝固機能検査を行った方

方 法:診療録(カルテ)から抽出したデータおよび血液凝固機能検査の結果を解析します。

【研究に用いられる試料・情報】

情報:病歴、診療の治療歴、診療経過中に施行した血液検査および凝固機能検査の結果

【外部への試料・情報の提供】

外部への情報提供は行いません。

【個人情報について】

研究に利用する情報は、患者様のお名前、住所など、個人を特定できる個人情報は削除して管理します。また、今回の研究で得られた成果を、医学的な専門学会や専門雑誌等で報告することがありますが、個人を特定できるような情報を利用することはありません。

本研究に関してご質問のある方、診療情報等を研究に利用することを承諾されない方は、下記までご連絡下さい。その場合でも、患者様に不利益になることはありません。

【連絡先および担当者】

東邦大学医療センター大橋病院 麻酔科

職位・氏名 教授・小竹良文

電話 03-3468-1251 内線 7607